
ハイクラス層の転職実態調査

2017年2月 株式会社マイナビ 転職情報事業本部

本調査ではハイクラス層を「最終学歴が大卒以上で年収が600万円以上の正社員25～35歳」と定義しています。

転載・引用につきまして

レポートの著作権は、株式会社マイナビが保有します。レポートの内容を転載・引用する場合には、出所として

・弊社名（株式会社マイナビ） 株式会社は省略可

・調査名称

・調査時期

を明記してご利用ください。

ex)

株式会社マイナビ「ものづくり業界における転職意識調査（2015年11月調査）」によると・・・

【転載・引用に関する注意事項】

以下の行為は禁止いたします。

・レポートの一部または全部を改変すること

・本レポートの一部または全部を販売・出版すること

・出所を明記せずに転載・引用を行うこと

・公序良俗に反する利用や違法行為につながる可能性がある利用を行うこと

転載・引用されたことにより、利用者または第三者に損害その他トラブルが発生した場合、当社は一切その責任を負いません。

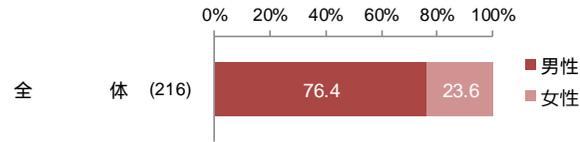
株式会社マイナビ 転職情報事業本部 調査管理課

E-mail: mt-kenkyu@mynavi.jp

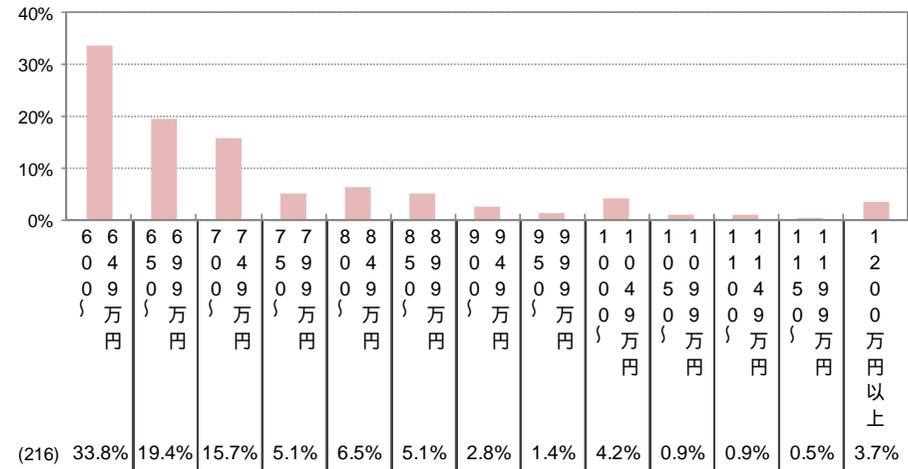
調査目的	ハイクラス層の転職実態について明らかにすること
調査名	ハイクラス層の転職実態調査
調査地域	全国
調査方法	インターネット調査
対象者	最終学歴が大卒以上で正社員として勤務している25歳～35歳の男女で、直近2年以内に転職経験があり、現在の年収が600万円以上の方
回答数	216件
実施期間	2017年1月20日（金）～1月30日（月）
実施機関	外部調査会社

調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

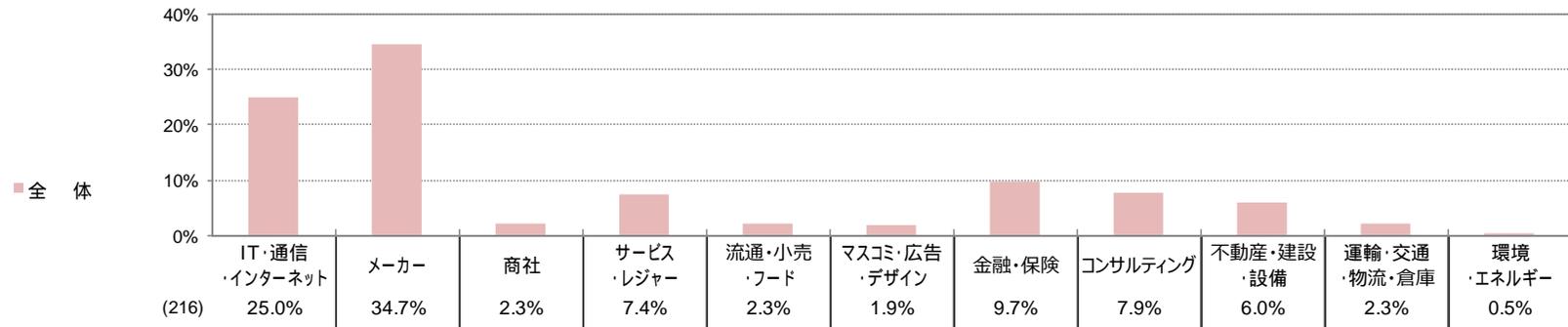
性別



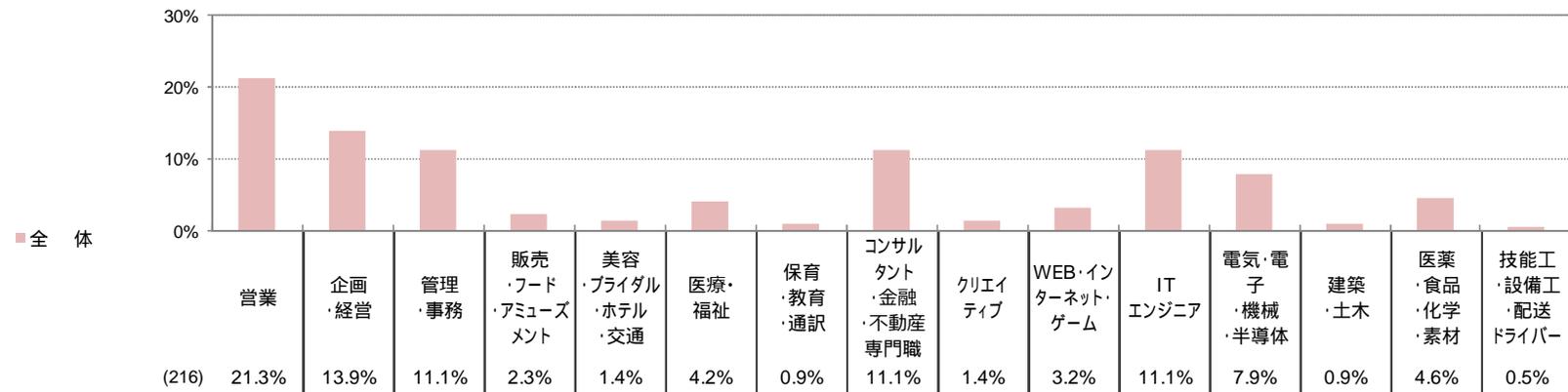
現在の年収



業種



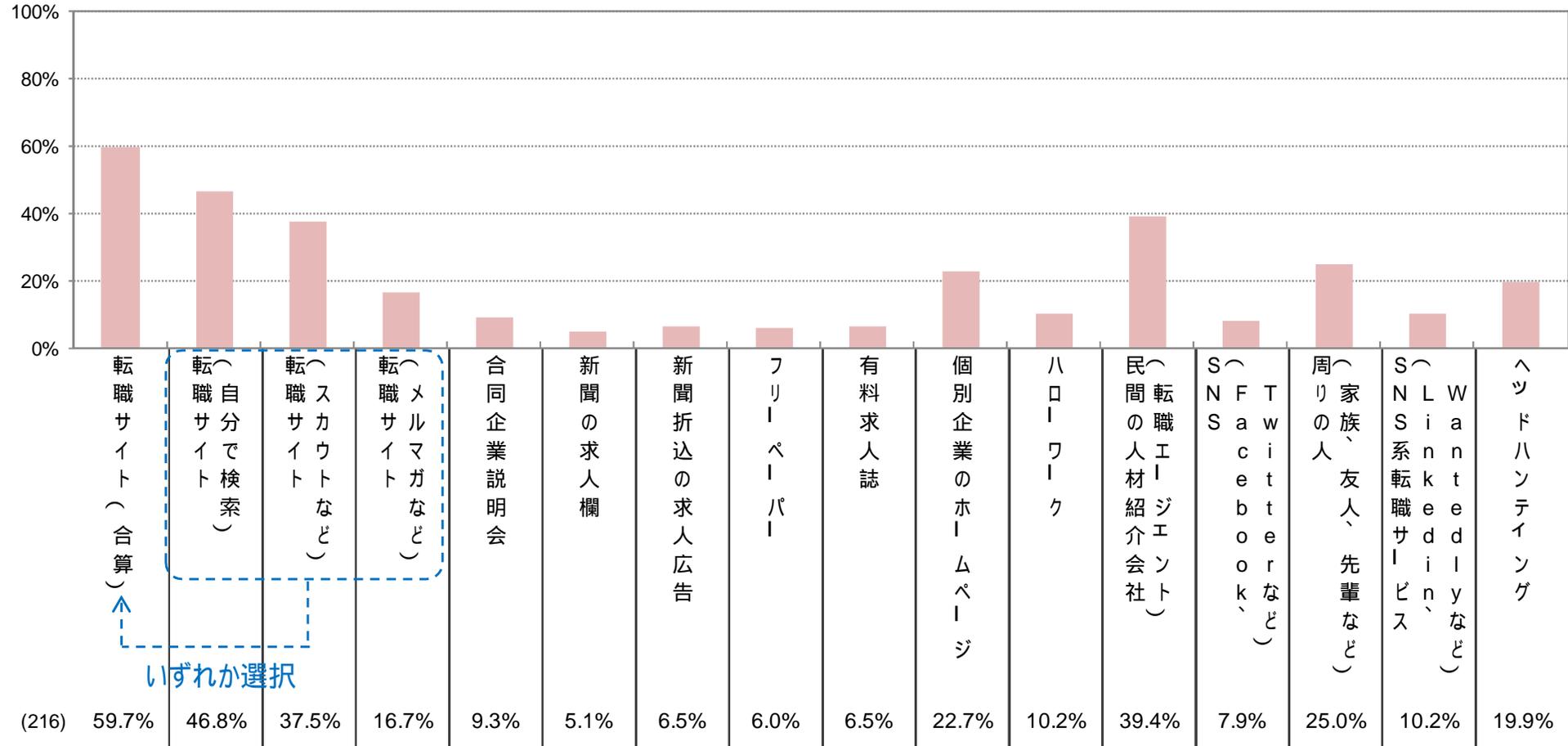
職種



(1) ハイクラス層が応募企業を探す際に利用した手段

全体では、「転職サイト（自分で検索）」が46.8%と最も高く、「民間の人材紹介会社（転職エージェント）」（39.4%）「転職サイト（スカウトなど）」（37.5%）が続く。「転職サイト（合算）」は59.7%で、応募企業を探す際には6割が転職サイトに接触している結果。

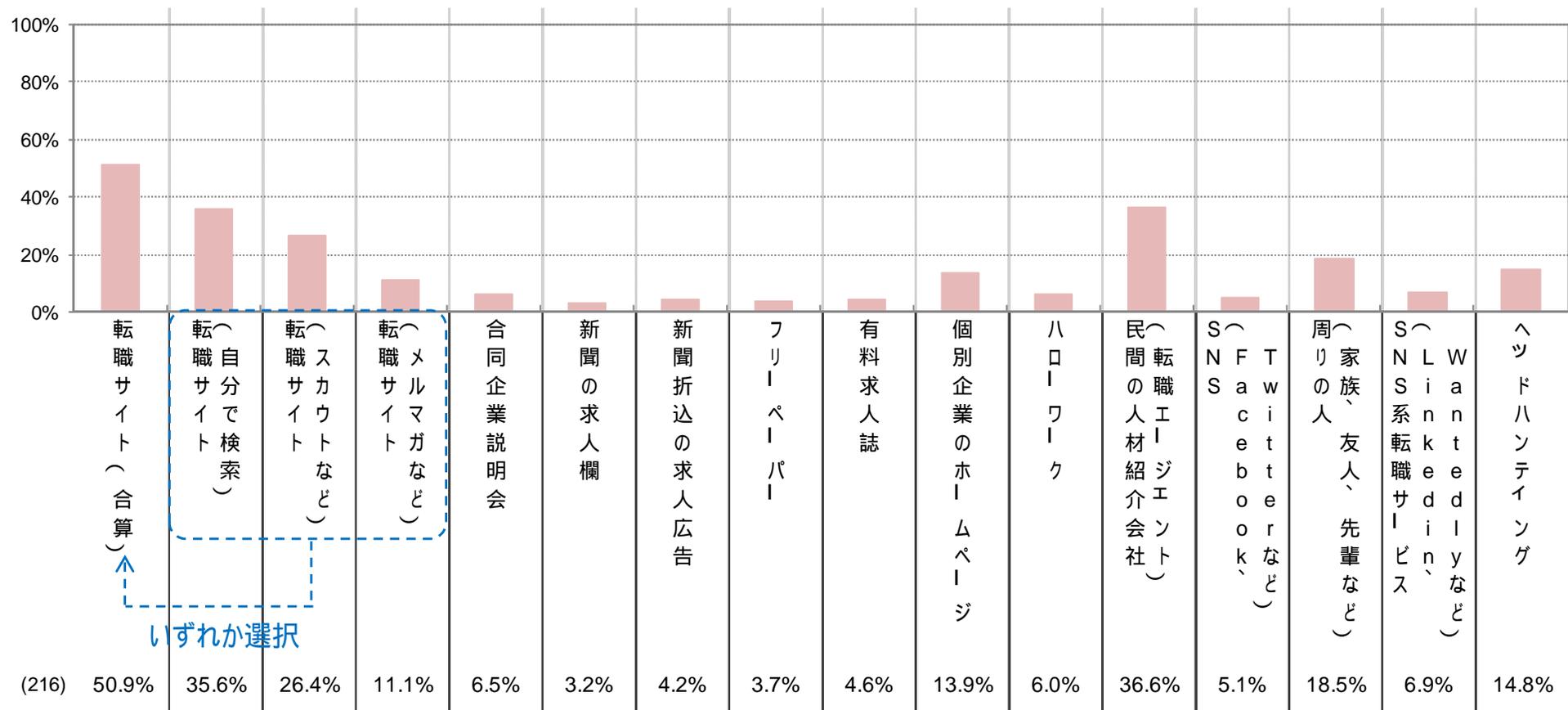
Q. 直近の転職活動についてお伺いします。求人閲覧・求人票の閲覧など、応募企業を探す際に使用した手段をすべてお選びください。



(2) ハイクラス層が応募に至った手段

全体では、「転職サイト（合算）」が5割を超えて最も高く、「民間の人材紹介会社（転職エージェント）」が36.6%で続く。「転職サイト」の内訳は「自分で検索」が35.6%で最も高く、「スカウトなど」が26.4%で続く。

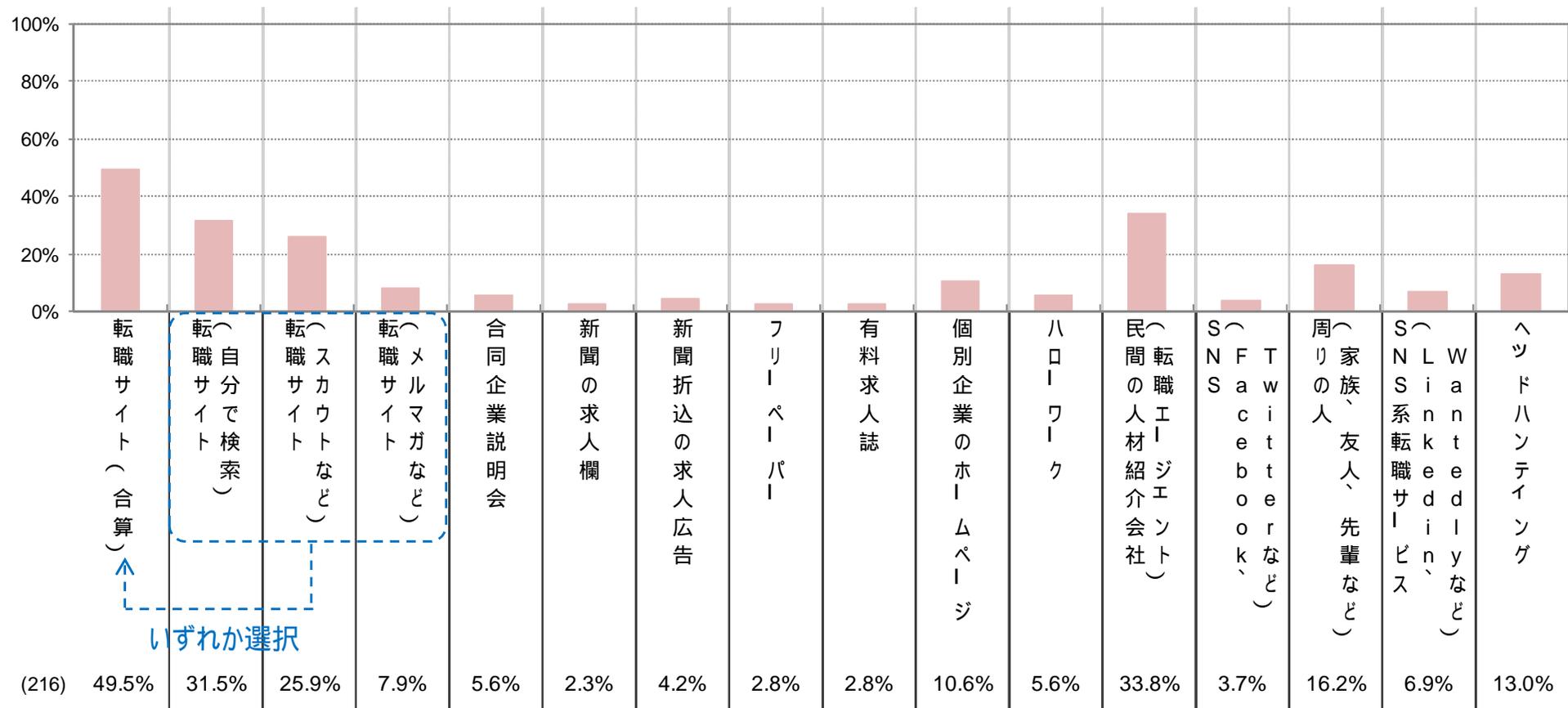
Q. 直近の転職活動についてお伺いします。その中で、応募に至った手段を全てお選びください



(3) ハイクラス層が面接に至った手段

全体では、「転職サイト(合算)」が49.5%と最も高く、「民間の人材紹介会社(転職エージェント)」が33.8%で続く。「転職サイト」の内訳は「自分で検索」が31.5%で最も高く、「スカウトなど」が25.9%で続く。

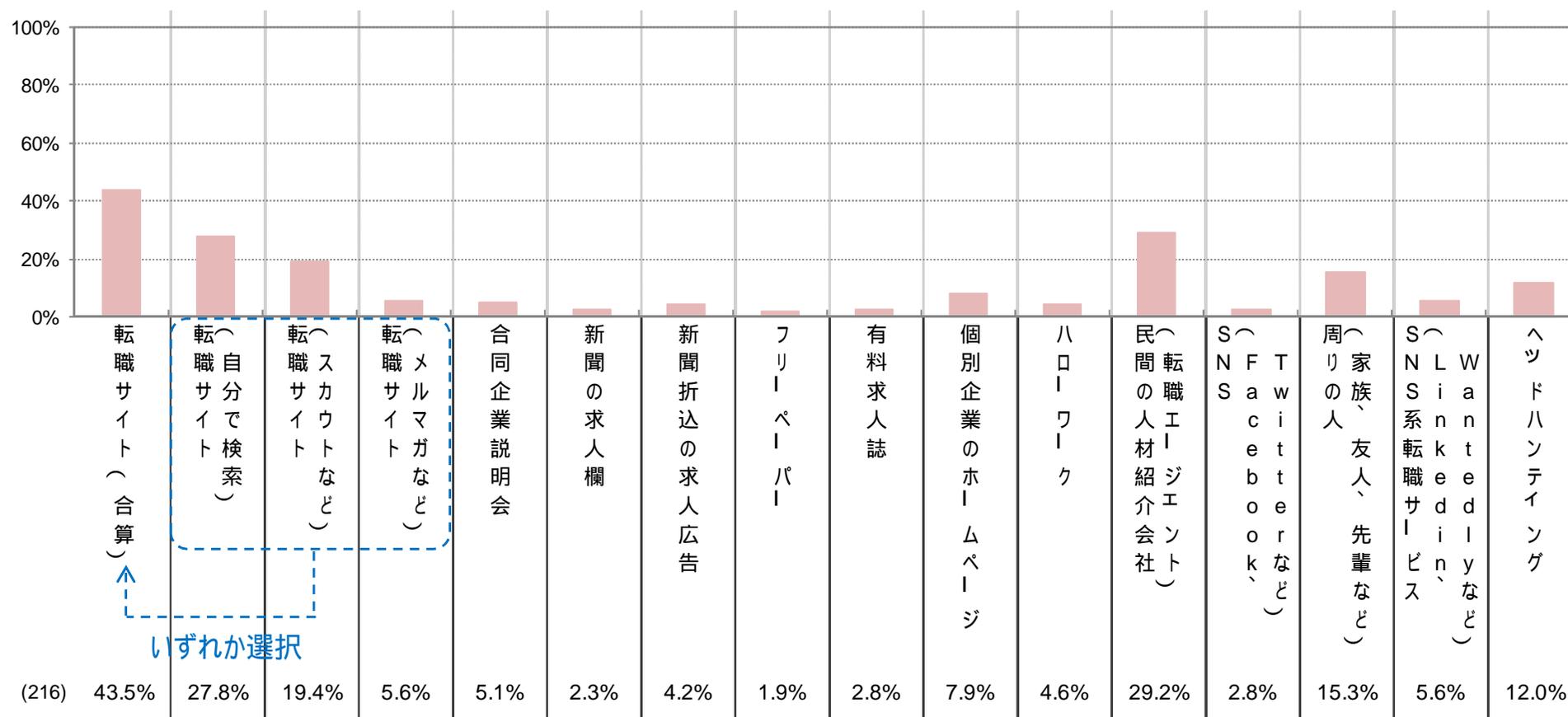
Q. 直近の転職活動についてお伺いします。その中で、面接に至った手段を全てお選びください



(4) ハイクラス層が内定に至った手段

全体では、「転職サイト（合算）」が43.5%と最も高く、「民間の人材紹介会社（転職エージェント）」が29.2%で続く。「転職サイト」の内訳は「自分で検索」が27.8%で最も高く、「スカウトなど」が19.4%で続く。

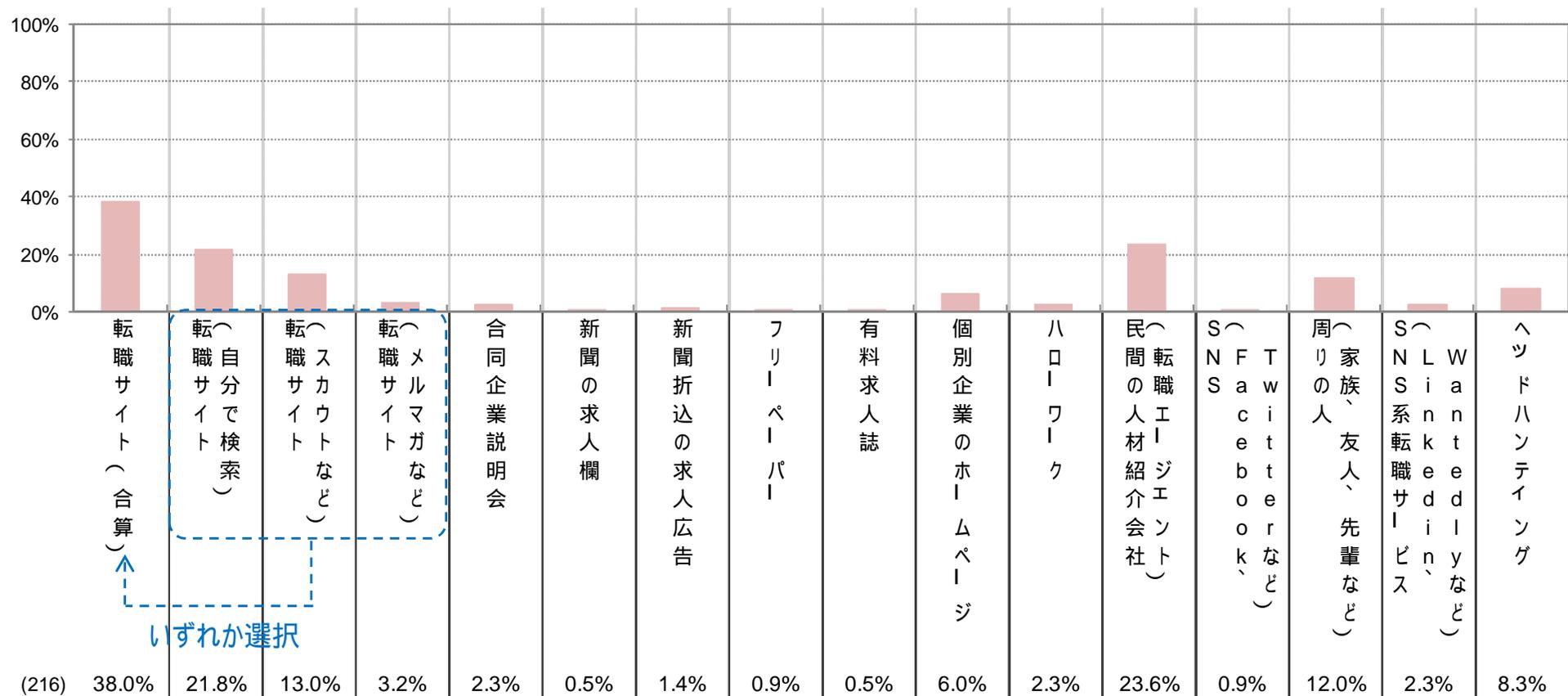
Q. 直近の転職活動についてお伺いします。その中で、内定に至った手段を全てお選びください



(5) ハイクラス層が入社に至った手段

全体では、「転職サイト(合算)」が38.0%と最も高く、「民間の人材紹介会社(転職エージェント)」が23.6%で続く。「転職サイト」の内訳は「自分で検索」が21.8%で最も高く、「スカウトなど」が13.0%で続く。

Q. 直近の転職活動についてお伺いします。その中で、入社に至った手段を全てお選びください



(6) ハイクラス層が最も有効だと感じた手段

全体では、「転職サイト(合算)」が36.6%と最も高く、「民間の人材紹介会社(転職エージェント)」が24.5%で続く。「転職サイト」の内訳は「自分で検索」が21.3%で最も高く、「スカウトなど」が12.0%で続く。

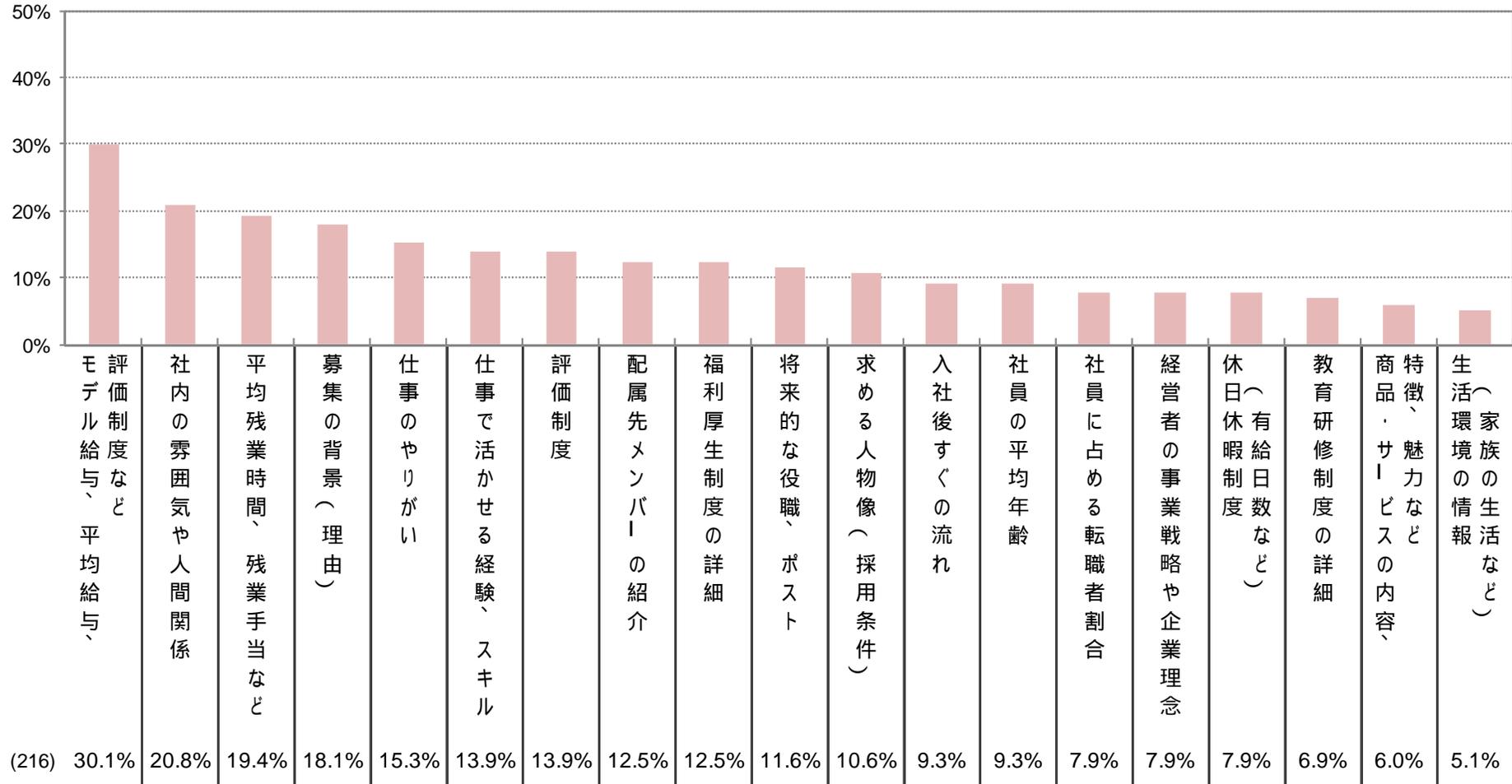
Q. 直近の転職活動についてお伺いします。あなたが最も有効だと感じた手段をひとつお選びください。



(7) ハイクラス層が求人情報に足りないと感じた項目

全体では、「モデル給与、平均給与、評価制度など」が30.1%と最も高く、「社内の雰囲気や人間関係」(20.8%)「平均残業時間、残業手当など」(19.4%)「募集の背景」(18.1%)が2割前後で続く。

Q. 求人情報や求人票を見て「もっと知りたい」「記載が不足している」と感じる項目として、あてはまるものを最大3つまでお選びください。



(8) ハイクラス層が企業研究に使用したメディア

全体では、「求人票・転職サイト」が54.6%と群を抜いて高く、「応募検討企業の公式サイト」(32.9%)「口コミサイト」(30.1%)「業界で働く知人」(29.2%)が3割前後で続く。

Q. 直近の転職活動時に、応募を検討している企業について調べる際に、閲覧したメディアや活用した手段をお選びください。

